

落札者決定基準

1 落札者の決定方法

落札者については、落札候補者の入札参加資格の有無及び技術資料等を審査し、決定するものとする。

落札候補者は、次の各要件に該当する者のうち、下記2「総合評価の方法」によって得られた数値（以下「評価値」という。）の最も高い者とする。

- (1) 入札金額が予定価格の制限の範囲内にあること
 - (2) 入札に係る性能等が、入札公告及び入札説明書において明らかにした技術要件のうち、必須とされた項目の最低限の技術的要件をすべて満たしていること
- なお、評価値の最も高い者が2人以上ある場合については、くじにより落札候補者の順位を決定する。

2 総合評価の方法

- (1) 評価は、開札後、予定価格の制限の範囲内の価格をもって有効な入札を行ったものについて、入札価格及び技術資料等に基づき行うものとする。
- (2) 評価は、「価格評価」及び「技術評価」に区分し、その配点を次のとおりとする。
 - ① 価格評価点 30点
 - ② 技術評価点 70点
- (3) 総合評価点は、次の算定式により算定する。
総合評価点＝価格評価点＋技術評価点
- (4) 価格評価点は、次の算定式により算定する。
価格評価点＝150点×（1－入札価格／予定価格）[小数点第4位切捨て]
ただし、入札価格が予定価格に10分の8を乗じた価格（以下「基準価格」という。）を下回る者については、算定中の「入札価格」を「基準価格」と読み替えて価格評価点を算出するものとする。
- (5) 技術評価の概要は以下のとおりとし、評価項目及び評価基準の詳細は、3「評価項目について」による。
 - ① 簡易な実施計画
 - ② 企業の履行能力
 - ③ 配置予定技術者の評価

3 評価項目について

①簡易な実施計画書

評価項目	評価区分		配点
空洞の発見精度について (様式第6号)	ア) 空洞発見における課題整理	一次調査を実施する際、地域特性や路線の特性、近年の陥没事故等を踏まえ、空洞を確実に発見するための課題抽出について評価する。 課題が複数ある場合は、複数記載すること。 また、課題が的確であると判断できる資料がある場合は示すこと。	10
	イ) 上記課題に対する具体的な解決策	ア) での的確であると判断された上記課題に対する解決策が適切かつ論理的に整理されており、本業務を行うにあたって有効性が高いと見込まれる場合に評価する。 課題を複数記載した場合は、課題ごとに対応する解決策を記載すること。 また、有効性の確認ができる資料を示すこと。	20
	ウ) 空洞発見精度の実績	上記課題整理や解決方法を踏まえ、公的機関のプロポーザル等で実施した試験走行による空洞発見個数(順位)と的中率について評価する。 また、実績が確認できる資料を示すこと。	15
	エ) 新技術の活用等	新技術等を活用し、空洞発見精度向上を図っていると見込まれる場合に優位に評価する。 また、新技術等の具体的な内容を示すこと。	5

※ウ) 実績には、NETISに登録されている技術公募における「路面下空洞調査技術」の実績も可とする。期間は令和3年～令和7年度のものとする。実績が確認できる資料は公表資料となっている入札調書等である。また、試験走行ごとに発見した空洞発見個数を示すこと。

※エ) 新技術とは、NETIS登録されている技術に限らず、空洞発見精度向上のため自社独自で取り組んでいる技術も含む。実際の調査や公的機関による実証試験において精度向上が図られた結果を示すこと。

②企業の履行能力

評価項目	評価区分		配点
過去 5 年の路面下空洞調査業務履行実績 (様式第 7 号)	過去 5 年に完了した国、地方公共団体の業務履行実績を右記の順位で評価する。	①路面下空洞調査業務の履行実績が 10 件以上	5
		②路面下空洞調査業務の履行実績が 6 件以上	3
		③路面下空洞調査業務の履行実績が 1 件以上	1
		④路面下空洞調査業務の履行実績が 0 件	0
路面下空洞調査業務での表彰歴 (様式第 7 号)	国、地方公共団体が発注した路面下空洞調査業務において、その成果が優秀であり表彰などを受けたものを右記の順位で評価する。	①表彰歴 5 件以上	3
		②表彰歴 3 件以上	2
		③表彰歴 1 件以上	1
		④表彰歴なし	0
営業拠点	仙台市一般競争入札参加資格者名簿に記載の本店・支店・営業所の所在について右記の順位で評価する。	①仙台市内に本店がある	3
		②仙台市内に支店・営業所がある	1
		③仙台市内に支店・営業所がない	0
ISO9001 取得状況	ISO9001 取得状況について右記の順位で評価する。	①取得あり	1
		②取得なし	0

③配置予定技術者の評価

評価項目	評価区分		配点
過去 5 年の配置予定管理技術者の路面下空洞調査業務履行実績 (様式第 8 号)	過去 5 年に完了した国、地方公共団体の業務履行実績を右記の順位で評価する。	①路面下空洞調査業務の履行実績が 5 件以上	3
		②路面下空洞調査業務の履行実績が 3 件以上	2
		③路面下空洞調査業務の履行実績が 1 件以上	1
		④路面下空洞調査業務の履行実績が 0 件	0
配置予定管理技術者の資格保有状況 (様式第 8 号)	配置予定管理技術者の資格保有状況について右記の順位で評価する。	①技術士(総合技術監理部門 建設-道路, 建設-土質及び基礎) 技術士(建設部門 土質及び基礎, 道路) 技術士(応用理学部門 地質)	3
		②R C C M(道路部門, 地質部門, 土質及び基礎部門)	1
		③上記資格保有無し	0
配置予定担当技術者の資格保有状況 (様式第 9 号)	配置予定担当技術者の資格保有状況について右記の順位で評価する。	①技術士(総合技術監理部門 建設-道路, 建設-土質及び基礎) 技術士(建設部門 土質及び基礎, 道路) 技術士(応用理学部門 地質)	2
		②R C C M(道路部門, 地質部門, 土質及び基礎部門)	1
		③上記資格保有無し	0